

建設の機械化

1995.5

No.543



◆巻頭言 JIS, ISO に対する欧州規格 EN の脅威	森 木 泰 光	1
常務理事 故酒井智好兄を偲んで	寺 島 旭	3
社団法人日本建設機械化協会の事業活動		6
感性工学にもとづいた建設機械デザイン改革へのアプローチ	中 田 国 昭・岩 田 照 久	24

グラビヤ—建設機械のニューデザイン

トンネル工事における省力化鉄筋組立システムの開発と施工	石 賀 裕	31
周辺地盤への影響が少ない地盤改良工法の開発と施工	植 木 博・柿 沼 章 夫・ 山 口 勝・鈴 木 孝 一	36
大口径立孔掘削工法—スーパー RD 工法の開発と施工—	伊 藤 稔 明・植 田 政 明・ 嶋 井 森 幸・川 田 正 敏	42
超大型（口径 4 m）全旋回ボーリングマシンの開発	八 木 肇・江 川 菊 次	49
◆ずいそう 「ところ変われば」—ある卒業式—	庄 子 幹 雄	58
◆ずいそう 私はセールスマン	吉 田 浩 三	60
メカテクノロジー—アンケート調査結果報告—	渡 辺 和 弘	62
◆わが工場 酒井重工業 東京工場	伊 藤 忠 雄	67



◆トピックス	低騒音型建設機械の指定（平成6年度第2回分） 建設機械等損料・賃料の改正（平成7年度向け） 阪神・淡路大震災における災害対策用機械の応援	71
◆海外情報		81
◆新工法紹介	03-105 揚重部材ハンドリングロボット「スウィングキャッチャー」/03-106 汎用型タワークレーン自動運転システム（ACSUS-II）/04-114 沈埋トンネル海底移動工法「SCAT工法」/10-24 ダム自動型枠	調査部会 82
◆新機種紹介		調査部会 86
◆統計	建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会 90
行事一覧		91
編集後記		(渡辺・石崎) 94

◇表紙写真説明◇

ホイールクレーン
「リーチタワークレーン LT300-1
「ピタゴラス」

コマツ

作業性能で定評ある、ラフテレンクレーン「LW80」をベースに、新しいコンセプトのブーム構造である、ピタゴラスブーム（主ブーム+水平伸縮ブーム）を装着して、深いふところを確保した新型ホイールクレーンである。

従来型のクレーンでは困難であった、電線越え作業や山越え作業（5階建てビル程度）を電線・電話線の仮移設なしで行え、さらに従来のジブ（延長補助ブーム）では不能であった、水平送込み作業も楽々行える。

8トンクラスのラフテレンクレーンをはるかに超える、最大約30mの高揚程と深いふところを生かして、ビル・マンションなどの建物にピッタリとくっついで作業が可能のため、道路占有スペースが小さくてすみ、道路交通に障害を与えないことで、市街地や住宅

密集地での新築・改築工事や特殊作業に最適のクレーン機械である。

＜本機の主な仕様＞

最大定格総荷重	4.91×2.5m
最大作業半径（主フック）	12m
（補フック）	21m（起伏角60°）
ブーム長さ（メインブーム）	5.3～15.2m
（水平ブーム）	3.8～14.8m
最大地上揚程（主フック）	19.3m
（補フック）	29.6m（起伏角82°）
巻上ロープ（主巻）	高速111m/min
（補巻）	低速56m/min（5層目）
（補巻）	高速104m/min
（補巻）	低速52m/min（4層目）
ブーム伸縮速度（メインブーム）	46sec（9.9m）
（水平ブーム）	30sec（11.0m）
ブーム上げ速度（メインブーム）	27sec（-6°～82°）
（水平ブーム）	13sec（0～69°）
旋回速度	2.5rpm
エンジン定格出力	150PS/3,000rpm